

伝統技術と品質に商機

経済SCOPE スコープ

シャツメーカーとコラボネクタイ 新潟市中心部に新店舗



亀田縞を製造する「中宮機業」の工場内＝新潟市江南区

④ 亀田縞の洋服を扱う「TULIP ENNSSEN」の新店舗＝新潟市中央区
⑤ 「メーカーズシャツ鎌倉」が発売した亀田縞のネクタイ＝新潟市中央区

JR新潟駅から徒歩5分ほどの新潟市中央区南万代町にショップ「TULIP ENNSSEN（チュリップ・エン・メンセン）」がオープンした。新潟市秋葉区にあった店舗兼事務所が4月に移転した。

デザイナーの横山英也代表が2016年にブランドを立ち上げた。亀田縞や五泉ニットのブラウス（約3万円）やワンピース（約4万円）などを販売。上質な天然素材を好み、フ

アシントンにこだわる40代以降の女性に支持されてきた。店舗やオンラインに加え、東京や京都などでの展示販売会を重ね、販路を広げた。新店舗は約80平方メートル。移転後、スタッフを雇用し、営業日を拡充。ビジネス客や訪日客などが訪れやすい立地で、新たな顧客獲得にもつなげている。

「デザイナーの横山英也代表が2016年にブランドを立ち上げた。亀田縞や五泉ニットのブラウス（約3万円）やワンピース（約4万円）などを販売。上質な天然素材を好み、フ

アシントンにこだわる40代以降の女性に支持されてきた。店舗やオンラインに加え、東京や京都などでの展示販売会を重ね、販路を広げた。新店舗は約80平方メートル。移転後、スタッフを雇用し、営業日を拡充。ビジネス客や訪日客などが訪れやすい立地で、新たな顧客獲得にもつなげている。

亀田縞ビジネス活況

新潟市江南区を中心に作られてきた綿織物「亀田縞」を活用した新たな動きに注目が集まっている。亀田縞の洋服を手がけるブランドが新潟市中心部に新店舗をオープン。国産シャツメーカーとコラボしたネクタイも登場した。いずれも伝統的な技術を現代のファッションに織り込み、商機を見いだす。地場産業の活性化につなげたいとの狙いもある。（報道部・榎本文）

売上高は毎年1.2倍ほどの伸びを見せており、東京や海外での展開も視野に入れる。横山代表は生地を買い、現在になじむデザインを作るといふサイクルを大きくして、ブランドと地場産業との間に良い循環を生み出したい」と話す。

「亀田縞のネクタイを発売したのは、国産シャツで知られる「メーカーズシャツ鎌倉」（神奈川県鎌倉市、鎌倉シャツ）の父の日戦争に合わせ、ネイビーティストライプといったブランドイメージに合う6柄をそろえた。軽く、ふっくらとした素材で、カジユアードでもオフィシャルな場でも合わせやすい。

「亀田縞を製造するメーカーは現在2軒のみ。「チュリップ」と鎌倉シャツが使う生地は、新潟市江南区の新潟市江南区

亀田の逸品ぎっしり

江南区にセレクトショップ開店

新潟市江南区亀田中島2に、同区特産の食品や亀田縞を使った衣料品を販売するセレクトショップがオープンした。地元企業の扱う割れせんべいや菓子、若者でも購入しやすくアレンジを加えた亀田縞のヘアアクセサリーなど、亀田地区の魅力が詰まった品々が並ぶ。

ショップは空き店舗を改装して10月にオープン。特産品を扱う「亀田いっぴん市場満開堂」と、亀田縞専門の「カメダジマストアNIGATA」の2店舗で、室内でつながって行き来もできる。

1階建てで建物面積は約40平方メートル。「亀田の商品を広め、より多くの人に手に取ってもらいたい」との思いから、地域の商工会議所青年部のメンバーら9人が今年5月

商議所青年部メンバー経営



取締役社長の鈴木均さん（左）と専務の入山定治さん＝新潟市江南区亀田中島2

亀田縞の丈夫さ 塩沢紬の着心地

ベストなベスト誕生

南魚沼市塩沢の南雲織物は、本県を代表する織物の塩沢紬と亀田縞を組み合わせたベストを発売した。亀田縞の丈夫さに塩沢紬の着心地のよさが合わさった一着になっている。

ベストの製作は伝統織物を通じて地域の観光を盛り上げようと、南魚沼市浦佐のやまとタクシーが企画。南雲織物が亀田縞の織物を製作する中宮機業（新潟市江南区）に声をかけた。縫製は、縫製加工業の藤モード（南魚沼市上十日町）に依頼し、県内企業によるコラボレーションにこだわった。

手の利用を想定し、後ろ身頃には丈夫さが魅力の亀田縞を、前身頃には亀甲縞の塩沢紬を採用。シックな色合いの塩沢紬が引き立つように、亀田縞の色を男性用はグレー、女性用は濃い赤の単色とした。

ベストは8月中旬に発売し、やまとタクシーでは今冬から乗務員の着用を予定している。南雲織物の南雲正則社長（72）は「メイド・イン新潟にこだわった一着。タクシー運転手の利用をきっかけに伝統織物のよさが全国へ広まってほしい」と話した。

運転席のシートに寄りかかっている時間が長いタクシー運転

3万5千円。サイズは男女それぞれS、M、L、LL。塩沢の塩



③ 「亀田いっぴん市場満開堂」の店内。亀田発の逸品が並ぶ
④ 「カメダジマストアNIGATA」。店舗内のカーテンなども亀田縞で作られている＝いずれも新潟市江南区亀田中島2

伝統織物、割れせんべい：2店舗連結

に株式会社「カメダプラス」を設立。開店に向けて準備を進めてきた。

「亀田いっぴん市場満開堂」では、市内外に3店舗を構える米菓の製造・販売卸、丸武古泉商店（曙町3）の割れせんべい（各140円）をはじめ、塚田牛乳（木津工業団地2）のベルギーワッフル（1個130円）、小池ろうそく店（所島2）の花丸ろうそく（1個1320円）など、地元企業約20社の製品を販売。「カメダジマストアNIGATA」は、亀田縞を生産する中宮機業（曙町1）と立川織物（袋津3）のジャケットやネクタイといった衣類が並ぶ。300種類以上の亀田縞の生地からオーダーメイドで作ることもできる。

「亀田縞は「高級」「高齢者向け」といった印象が持たれがちなため、こうした先入観を変えようと、



手に取りやすい商品も用意。気軽に購入できるヘアゴム（130円）やコースター（660円）などオリジナル商品もそろえた。

カメダプラス取締役副社長で、イタリア料理店「たんと」（鶴ノ子2）など2店舗を経営する鈴木均さん（46）は「地域の方の協力をいただき、亀田の逸品や亀田縞の魅力を広めていきたい。市外や県外への贈り物にもぜひ使ってほしい」と話した。

不定休。午前10時～午後6時。問い合わせ先はカメダプラス、025(311)4111。

南魚沼 タクシー乗務員が着用予定

沢つむぎ記念館の店舗やオンラインショップで購入できる。問い合わせは同記念館、025(782)4888。



塩沢紬と亀田縞を組み合わせたベスト＝南魚沼市塩沢